

「地域資源の発掘・生産者と連携した商品開発で ブランド価値を創出します!!」

～生涯のイベントに関与できる商品づくり(さくらアイスのブランド化)を目指して～



No. 107



(有)佐々木商事

代表取締役 佐々木 雅 洋



当社の概要

当社は前経営者の後を継ぐ形で平成10年7月にガソリンスタンドを創業しました。

創業当初から喫茶営業の許可を取得しており、ゲストルームを活用した飲食の場を検討しながらお客様に提供する食材は何が良いかを妻と考案した結果、『アイス』の提供という結論に至り現在営業しております。

また、当社の向かいには200種(2000本)の桜の園がある日本国花苑であることから同年、八重桜の花びらを練り込んださくらアイス『花びら味』と、葉を練り込んだ『葉っぱ味』の2種類のフレーバーが楽しめるアイスの販売を開始しました。

現在では「さくらアイス」以外にもイチゴや大潟村産メロン(夏期限定)

を使用したアイスも販売しており、平成17年からは燃料販売や灯油販売など住宅設備関連の事業にも参入しています。

季節商品から通年商品のイメージへ

当社は「油も売っているアイス屋さん」として地元から認知され、毎年受験シーズンの時期には、地元中学生を対象に合格祈願をかけて「サクサク」をイメージした合格味の『さくらアイス』を無償提供しております。

また、平成26年度には小規模事業者持続化補助金を活用し、看板の設置や冷凍ショーケースの導入、パッケージデザイン等の変更を行い、ネーミングを「さくらアイス」から地元を意識した「いかわさくらアイス」へと変更しました。

経営課題の解決に向けて

当社の課題としては少子高齢化による人口減、エコカーやハイブリッドカーの台頭による低燃費車の増加、エコドライブによる燃費改善、省エネ、創エネ機器の成長による燃料油の需要減少が想定されます。

このことから、課題を解決して次のステージへとステップアップする為にも自分の思いを商工会へ相談し、専門指導員を交えながら何度もヒアリングを重ねました。結果、経営革新による身の丈にあった新たな儲かるしくみづくりの醸成と、地域との連携を更に強化していくことが必要との結論に至りました。

経営革新計画の策定、そして認定へ

計画の策定にあたっては専門指導員や湖東3町商工会の経営指導員と検討を重ね「井川町の観光資源活用型SSへの転進」として「地域資源を活用した商品開発・事業化」及び「SS併設型カフェテリアの立上げ」

に取り組むことにしました。具体的には20年前から取り組んできた「さくらアイス」のブランド化を図るとともに、五城目町等近隣地区の地域資源(果物等)を原料とした商品開発と事業化、SSに隣接する土地を有効活用した、飲食スペースの設置、また、各種のイベント要請に対応するための移動販売車両の導入を予定しております。

この内容にて、平成27年12月に経営革新計画として認定を受けることができました。

今後の展望

弊社のSS名は「井川さくらステーション」です。

日本国花苑を中心に「さくら」を屋号に使用する事業所、病院、施設等も多い中、本事業の推進を通じて「さくら」を基軸とした共通の商品マークの開発など、今後は地域一体となって取り組む地域団体商標といった「ブランド創出活動」の足掛かりを築いていきたいと思っております。



from IKAWA

有限会社 佐々木商事
(井川さくらSS)

本社 〒018-1515
秋田県南秋田郡井川町小竹花字関合3-7

TEL 018-855-6170

FAX 018-855-6171

営業時間 月～土 7:00～19:00
日・祝 7:30～18:00

定休日 年中無休



※この紙は再生紙を使用しています。